

## いきいきフレックスプランの概要

内 容		備考
年度設定	対象期間：4月1日～3月末日 申請期間：6月1日～翌4月15日	
給付時期	毎月15日までに申請されたものは翌月25日に給付される。	
申請方法	1. 電子申請 2. 差額決済方式による申請	WEB上、またはeメール で処理状況等の確認可能。
年間付与ポイント	80ポイント／1ポイント100円 (補助額は負担額の全額または1/2の金額を助成する)	
補助対象者	大阪府立病院機構職員互助会会員	
退職者	互助会退会日から1ヶ月間は申請可能（ただし、年度末の4月15日が最終となる。）	
ポイント繰越	なし	
未申請者への対応	協議の上、決定 (例：50ポイントを上限に給付事業を可能にするなど)	

# いきいきフレックスプラン メニュー一覧表

カテゴリ	メニュー名称	申請上限	対象者	助成対象費用	助成対象外費用	参考
共通項目		各項目に準ずる	各項目に準ずる	・航空運賃 ・フェリー運賃 ・JR私鉄等の運賃等 ・高速道路通行料金、駐車場料金 ・レンタカー料金	・ガソリン代	・利用内容を申請書に明記の上、領収書または利用に関する明細書を添付
健康づくり	体力増強	自己負担額の全額	会員 会員に同伴する2親等以内の家族	・スポーツ施設の利用料 ・スポーツ大会等への参加料	・家族のみの利用費用 ・物品購入費 ・レンタル費用	テニスコート、プール、スキューバダイビング、乗馬、スキー、スケート場、ゴルフ、ボーリング、フィールドアスレチック、フィットネスクラブ、各種スポーツスクール等
	予防接種	自己負担額の全額	会員 2親等以内の家族	・各種予防接種に要した費用	・検査費 ・治療費 ・物品購入費	インフルエンザ、風疹、麻疹、破傷風、 <b>渡航時</b> の各予防接種等
高齢者介護 次世代育成 障害者介助支援	介護サービス利用	自己負担額の全額	会員 2親等以内の家族	・介護保険サービスの利用料 ①介護保険法に規定する「在宅サービス」「施設サービス」を利用した場合の費用 ②介護保険の認定を受けている人が保険適用外の介護サービスを利用した場合の費用(飲食費等除く) ③介護保険の対象となる要介護者が認定を受けずに介護サービスを利用した場合の費用	・消耗品、福祉用具等の物品購入費 ・住宅の改修費用(リフォーム費用) ・飲食代	・介護保険上の「在宅サービス」「施設サービス」が助成の対象となる ・領収書は指定居宅サービス事業者又は介護保険施設が発行したものが必要
	育児サービス利用	自己負担額の全額	会員の子 会員の孫	・ベビーシッターの利用にかかる入会金、年会費、利用料 ・保育所、託児所、学童保育等の保育利用料	・物品購入費 ・飲食代	・領収書は法人等が発行したものが必要
	不妊治療	自己負担額の全額	会員 配偶者	・不妊治療検診 ・カウンセリング等にかかる費用	・物品購入費 ・飲食代	・領収書は法人等が発行したものが必要
	介助者の利用	自己負担額の全額	会員 2親等以内の家族	・障害者介助料	・物品購入費 ・飲食代	・領収書は法人等が発行したものが必要
自己啓発支援	教養講座受講	自己負担額の1/2	会員	・語学 ・教養講座 ・カルチャー教室の入会金、受講料 ・夜間大学、大学院等の授業料 ・資格試験等の受験料 ⇒教材費用が受講料金に含まれている場合、助成対象。	・教材費用 ・物品購入費 ・飲食代	・対象施設内で発生する施設使用料等は必要経費とし、助成の対象とする。
	通信教育受講	自己負担額の1/2	会員	・通信講座、通信教育の【入会金】【受講料】	・教材費用 ・飲食代 ・物品購入費	・対象施設内で発生する施設使用料等は必要経費とし、助成の対象とする。
	講演会参加	自己負担額の1/2	会員	・フォーラム ・シンポジウム【聴講料】 ・学会【年会費】【参加料】 ⇒教材費用が、受講料金に含まれている場合は助成対象。 ・講演会参加のための「交通費」	・教材費 ・物品購入費 ・飲食代	・対象施設内で発生する施設使用料等は必要経費とし、助成の対象とする。
	文化・教養・スポーツ鑑賞・レクリエーション施設等利用	自己負担額の1/2	会員	・観劇、コンサート、映画の鑑賞料 ・美術館、博物館の入館料 ・各種スポーツの観戦料 ・テーマパーク、遊園地、各種博覧会等の入場料 ・神社、仏閣等の拝観料	・サウナ、エステ、マッサージ(あんま・整体・針灸等) ・スーパースーパー銭湯 ・物品購入費 ・飲食代	・原則として領収書の添付が必要 チケットの半券しか入手できない場合、申立書に氏名等の不足事項を記入
元気回復支援	宿泊施設利用 ツアー利用	自己負担額の1/2	会員 会員に同伴する2親等以内の家族	・国内外の宿泊施設での宿泊料( <b>入湯税も助成対象に含まれます</b> ) ・旅行者を通じた国内外の旅行、ツアー費用 ・宿泊施設利用に係る交通費(高速道路通行料も可。ただし交通費単独申請は不可)	・物品購入費 ・家族のみの利用費用 ・旅行保険費 ・追加飲食代 ・交通費のみ	・宿泊料のみが対象。 ・宿泊料と食事代が一体のものとしてセット料金になっている場合は助成の対象。(1泊2食付等) ・バックツアーは宿泊・日帰りとも助成の対象。